

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成 22年 2月 23日 午後 7時 00分から午後 9時 00分まで
- 3 会 場 武石公民館 第 1会議室
- 4 出席委員 新井繁雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、柿島祐子委員、木下文雄委員、木下幸光委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、佐藤栄作委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、増子力才委員、松井幸夫委員、依田せつ子委員(欠席 2名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、葦山産業観光課長、桜井建設課長、伊藤教育事務所長、児玉課長補佐(欠席 1名)
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 22年 3月 15日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会(広川課長)
- 2 会長あいさつ(桜井会長)
- 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
- 4 報告事項
平成 22年度わがまち魅力アップ応援事業補助金の申請状況とプレゼンテーションの方法について
【説明要旨】
(1) 申請状況
個性あるふるさとづくり事業 5件 藪合自治会、余里自治会、鳥屋自治会、大布施巣栗自治会、西武自治会(全部継続)
特色あるまちづくり事業 3件 武石特産品検討委員会(継続)武石ソフトボール連盟(新規)七ヶ公友会(新規)
(2) プレゼンテーションの方法 資料説明
- 5 協議事項
(1) 意見書「武石地域全域公園化構想について」について
(会長) 前回の協議をもとに内容を修正した。検討願いたい。

一同了承

(会長) 提出は 26日午後 2時から市役所市長室において行う。正副 2人のほか地域振興部会、市民生活部会の部会長にも同席いただく予定。

一同了承

(2) 持ち寄り分基金の用途について
(会長) 委員からの要望として基金の用途について再度協議することとなった。任期終了間際で、結論を出すに至らないと思われるが、一定の方向性は協議できると思う。まず、センター長に、基金の用途と深く関係してくる公社の剰余金の現状について説明いただきたい。

(センター長)

公社の剰余金については、公社で剰余金検討委員会を設け検討いただき、このたび答申をいただいた。検討委員会にはこの協議会からも2名の委員が参加している。構成は、武石の理事6名、武石選出市議員2名の計8名、目的は、武石開発公社が練馬少年自然の家事業やピーナスライン料金徴収事業などで貯めてきた3億2千万円の剰余金について公社の合併を前に使い道を検討する、ということで設置された。公社の事業の中で、特に雲渓荘と番所ヶ原スキー場に課題が多いため、この2事業を中心に6月より8回の検討がなされ、具体的な金額や練馬区の考え方なども聞きながら、解決案を示していただいた。

内容

番所ヶ原スキー場については、練馬区の意向としても継続させたいということなので、練馬区の援助も受けながら改修をしていきたい。改修は第1リフトをスキー場の中心から山端に移設し、ペアリフトにするなどの事業で、事業費は中古を使った場合約2億5千万円。

雲渓荘は、建物の耐震化やボイラーの改修、トイレ付の部屋の増設やエレベーターの設置などが必要だが、利用客が半減しており、まず経営を改善させなければ改修は無意味になってしまう。現在経営コンサルタントに依頼して経営の向上を目指している。

そのため、剰余金は市の地域振興基金の武石持ち寄り分基金に寄付し、雲渓荘や番所ヶ原スキー場の改修計画が策定された時点でその活用を考える。

(委員)私も委員の一人として検討したが、持ち寄り分基金に剰余金を入れてもらうという方向でまとめた。持ち寄り分基金の使い道については、地域協議会の任務である地域の重要事項にあたるので、武石地域協議会の大きな課題になる。雲渓荘やスキー場は武石の住民が多く利用しなければ経営が向上しない。まず住民もこの2施設に係わらなければ変わっていかないのではないかと考える。

(センター長)雲渓荘では、低料金でまずは人を呼ぶということで、平日5千円の宿泊イベントを実施している。

(委員)2月に2回雲渓荘に行ったが、いつもいっぱい、他町村から客が来ている状態だった。

(委員)安いだけでなく、食材も考えて「おいしく」してもらいたい。昨年実施したメニューの改善試食はおいしかった。

(センター長)現在、コンサルタントがはいっているので、今はコンサルの指示ですべてが動いている状態である。

(委員)基金が合算された場合は、中身を分けて考えるのか。

(センター長)基本的には一緒になるので、何に使ってもいいということになるが、実際には中身のことは考えないわけにはいかない。現実には雲渓荘やスキー場の改修を行えば、剰余金の分は使ってしまうと思う。地域協議会の場でしっかり協議いただきたい。

(会長)我々の任期はあと1カ月余りだが、基金の使い道について十分考えていただきたい。次回はひとり一人の意見をお聞きしたい。

6 その他

(事務局) 次回の予定について、
3月16日と決定する

一同で集合写真撮影

7 閉会(小山副会長)